

高井・三戸部組 最高位

杖道（じょうどう）の第41回全日本大会（10月5日・東京の巣鴨学園ギムナシオン、全日本剣道連盟主催）で、3段の部に出場した全十勝剣道連盟杖道部会（鈴木清志部会長）の高井宏行（47）＝鹿追＝と三戸部良太（31）＝帯広＝のペアが最高位となる優秀賞を獲得した。2段の部でも高木万里子（48）＝音更＝・名野まい（33）＝鹿追＝のペアが2年連続の優秀賞に輝いた。

全日本杖道・3段の部



全日本大会で優秀賞を獲得した三戸部良太、高木万里子、高井宏行（前列左から）と全十勝剣道連盟杖道部会員

2段部 高木・名野組は2年連続

杖道は2人1組で取り組む形稽古が基本。長さ128センチ、直径2・4センチの杖（つえ）を武器に、太刀、やり、なぎなたの技にさらに独自の動きを加味した多彩な武道。仕掛ける太刀と受ける杖で演武し、全日本大会では審判員3人が正しい姿勢、打突、氣勢、技の充実度などを審査、2本以上旗の上がった組が勝つ。初段から7段までの7部門に分かれてトーナメントを実施。初段から3段までは、決勝を行わず、上位2組を優秀賞として表彰している。

高井と三戸部は2段で一度ペアを組み、3段では初めて組んだ。1回戦の相手は欧州大会優勝者を擁する神奈川のペア。2人は「ガチガチで覚えていないが、大きな声は出せた」と辛くも2-1で下した。

残る3戦は3-0で圧勝した。最終戦はかつての同門宮田遼平が出場する大阪のペアが相手。2人は「この日一番の手応え。充実した良い技が出た」と会心の演武を見せた。三戸部は「太刀は本当に切るつもりで、杖はぎりぎりで見切った」と戦敗退から「何が足りないか自問してきた。基本に立ち返り、呼吸や間合いを合わせた」と振り返る。

三戸部は「まずは四段になる」と昇段を目指し、高井も「やるからにはさらに上を目指したい」と意気込む。

高木と名野は昨年、優秀賞を獲得。大会前には名野が太刀、高木が杖のときに苦戦した。名野は「高木の大きく伸び伸びとした杖を引き出さなければ」と迷った。呼吸や間合いを練習し、三戸部からもアドバイスを受けて稽古を重ねた。

大会で2人は「試合は練習のように、練習は試合のように」を心掛け、「たくさん対戦できたらいね」と臨んだ。勝ち進むごとに息も合いうる。名野は「形武道は動きが決まっているから奥が深い」と実感した。2人は「好きなことをやって応援してもらえると関係者や家族などに感謝した」。

同部会は、毎週日曜日から午後6時から同8時45分まで帯広の森体育館で練習している。常時、入部者を募集している。問い合わせは事務局の三戸部さん（090・9756・3840）へ。

（菊池宗矩）

かちまいスポーツ



帯広市立専修学校(菅野 誠校長、学生97人)は、2日前に市内で開かれる「2014フードバレーとからマラソン」(実行委主催)に今年も全校参加する。地元を盛り上げるため、各校が応援隊として参加し、大会がランニングを盛り上げる。今年もハーフ4人を含む全校参加でマラソンを盛り上げる学生たち

フードバレーとかちマラソン

帯広コア 今年も全校参加

「地元盛り上げたい」 帯広コア専修学校(菅野 誠校長、学生97人)は、2日前に市内で開かれる「2014フードバレーとからマラソン」(実行委主催)に今年も全校参加する。地元を盛り上げるため、各校が応援隊として参加し、大会がランニングを盛り上げる。今年もハーフ4人を含む全校参加でマラソンを盛り上げる学生たち

水道のシャワーを身に付けて、ハーフに出場する。帯広コア専修学校(菅野 誠校長、学生97人)は、2日前に市内で開かれる「2014フードバレーとからマラソン」(実行委主催)に今年も全校参加する。地元を盛り上げるため、各校が応援隊として参加し、大会がランニングを盛り上げる。今年もハーフ4人を含む全校参加でマラソンを盛り上げる学生たち



給水所での応援に向けて気合十分なドコモショップ帯広競馬場通店の光川店長(左)ら

動画サイトで生中継 OCTVは特別番組

十勝毎日新聞社は2日のフードバレーとかちマラソンの模様をインターネットの動画サイト「USTREAM」で生中継、帯広シティーケーブル(OCTV)も特別番組「OCTVスポーツスペシャル」として生放送を行う。USTREAM、OCTVともに放送は午前8時半からで、同8時40分からのオープニングセレモニーの様子や同9時からの各部門のスタート、途中のランナーの走りなどをライブ中継する。USTREAMはスタート地点(藤丸前)とゴール地点(中央公園)の他、ランナーの先頭を走る中継車など6カ所から多生中継する。勝毎電子版の同マラソン特設ページから視聴できる他、完走者のタイムも速報する。OCTVはスタートとゴール、2.5km地点の西町公園の3地点で、リポーターがランナーや沿道応援など大会の盛り上がり伝える。(高津祐也)

高井・三戸部組 最高位



2段部 高木・名野組は2年連続

全日本大会で優秀賞を獲得した三戸部良太、高木万里子、高井宏行(前列左から)と全十勝剣道連盟幹部会員

全日本杖道・3段の部

杖道(じょうどう)の第41回全日本大会(10月5日・東京の巣鴨学園キムナシオン、全日本剣道連盟主催)で、3段の部に出場した全十勝剣道連盟杖道部会(鈴木清志部会長)の高井宏行(47)＝鹿追＝と三戸部良太(31)＝帯広＝のペアが最高位となる優秀賞を獲得した。2段の部でも高木万里子(48)＝音更＝・名野まい(33)＝鹿追＝のペアが2年連続の優秀賞に輝いた。

杖道は2人1組で取り組む形稽古が基本。長さ1.28m、直径4.4cmの杖(竹)を武器に、太刀、やり、なぎなたの技に似て独自の動きを加味した多彩な杖道。仕掛ける太刀と受ける杖で構成し、全日本大会では審判員3人が正しい姿勢、打突、気勢、技の充実度などを審査、2本以上旗の上がった組が勝つ。初段から7段までの7階級に分かれてトーナメントを実施。初段から3段までは決勝を行わず、上位2組を優秀賞として表彰している。高井と三戸部は2段で一度ペアを組み、3段では初めて組んだ。1回戦の相手は欧州大会優勝者を擁する神奈川のペア。2人は「ガチガチで覚えているが、大きな声は出さず、辛くも2-1で下した。と辛くも残り3戦は3-0で庄勝した。最終戦はかつての同門富田選手が出場する大阪のペアが相手。2人はこの日の一番の手応え。充実した良い技が出た」と会心の演武を見た。三戸部は太刀は本場に切ったつもりで、杖はきりぎりしで切った。高井は昨年1回の戦敗退から「何が足りないか自問してきた。基本に立ち返り、呼吸や間合いを合わせた」と振り返る。三戸部は「まずは四段に上を目指したい」と意気込む。高木と名野は昨年、優秀賞を獲得。大会前には名野が太刀、高木が杖のときに苦戦した。名野は「高木の大きく伸び伸びとした杖を引き出さなければ」と迷った。呼吸や間合いを練習し、三戸部からもアドバイスを受けて稽古を重ねた。大会で2人は、試合は練習のように、練習は試合のように「心を掛け、一たてさんで戦ってきたらいいね」と臨んだ。勝ち進むことに息も合ひ5戦全勝。名野は「形武道は動きが決まっているから奥が深い」と実感した。2人は「好きなことをやっていたら応援してもらえ」と関係者や家族などに感謝した。同部会は、毎週日曜日の午後6時から同8時45分まで帯広の森体育館で練習している。問い合わせは事務局の三戸部(090・9756・3840)へ。(菊池宗規)

高木美 1500で大会新

スピード 帯広の森競技会開幕



【女子1500m】2分0秒82の大会新記録で制した高木美帆

スピードスケートの2014帯広の森競技会(帯広市文化スポーツ振興財団)が1日、明治北海道十勝オーバードレスコートで開幕した。午前8時半に競技開始予定。観戦無料。問い合わせは同オーバル(0155・49・4000)へ。(北雅貴)

選手も出場している。2日は午前8時半に競技開始予定。観戦無料。問い合わせは同オーバル(0155・49・4000)へ。(北雅貴)

【富更】ソフトテニスの全勝室内選手権大会(帯広市文化スポーツ振興財団)が10月26日、サンロードおとぎで開かれた。8組が参加した成年男子の決勝は堀(タケシマス)が4-0で西野・小関を破った。

堀・和也組が初V。佐々木・長崎組も全勝室内ソフトテニス。堀・和也組が初V。佐々木・長崎組も全勝室内ソフトテニス。堀・和也組が初V。佐々木・長崎組も全勝室内ソフトテニス。

帯広連合が準V

中学バレーボールの第2回帯広連合杯北海道ヤングクラブ連盟交流大会(10月4、5日・札幌市立高島)で、帯広連合が準優勝した。帯広連合は、決勝で札幌市立高島を4-0で破った。



準優勝を果たすなど健闘した帯広連合Jrエースチーム

和佳一(STクラブ)組が那須義彦・佐々木敏樹組(帯広地方卸売市場)を4-3で下し初優勝を果たした。5組が参加したシニア45女子はリーグ戦を行い、4戦全勝した佐々木史恵・長崎洋子組(Mクラブ)が初制覇した。

▽成年男子▽予選リーグ
Aグループ①西野翔広(NTK)②小関一義(青葉クラブ)③清水博史(小川)④タケシマス(NTK)⑤高橋好男(横田勝太)⑥谷口秀幸(音更連盟)⑦谷口秀幸(音更連盟)⑧谷口秀幸(音更連盟)⑨谷口秀幸(音更連盟)⑩谷口秀幸(音更連盟)

▽成年女子▽予選リーグ
Aグループ①西野翔広(NTK)②小関一義(青葉クラブ)③清水博史(小川)④タケシマス(NTK)⑤高橋好男(横田勝太)⑥谷口秀幸(音更連盟)⑦谷口秀幸(音更連盟)⑧谷口秀幸(音更連盟)⑨谷口秀幸(音更連盟)⑩谷口秀幸(音更連盟)

▽成年男子▽予選リーグ
Aグループ①西野翔広(NTK)②小関一義(青葉クラブ)③清水博史(小川)④タケシマス(NTK)⑤高橋好男(横田勝太)⑥谷口秀幸(音更連盟)⑦谷口秀幸(音更連盟)⑧谷口秀幸(音更連盟)⑨谷口秀幸(音更連盟)⑩谷口秀幸(音更連盟)

▽成年女子▽予選リーグ
Aグループ①西野翔広(NTK)②小関一義(青葉クラブ)③清水博史(小川)④タケシマス(NTK)⑤高橋好男(横田勝太)⑥谷口秀幸(音更連盟)⑦谷口秀幸(音更連盟)⑧谷口秀幸(音更連盟)⑨谷口秀幸(音更連盟)⑩谷口秀幸(音更連盟)

記録の速報はkachimai.mobi

Eメールsports@kachimai.co.jp

写真がほしい0120-259410